

2023年12月20日に開催された会で課題「寒い」に下記の句がありました。

《時越えてダウン着せたや貧窮歌 しづ》の補足。
(川柳としては「時越えて」と「時空越え」とではどうでしょうか)

『万葉集』は、わが国に現存する最古の歌集で、全20巻、約4500余首の歌が収められており、編者は大伴家持(おおとものやかもち)が有力視されています。

『万葉集』の名前の由来については二つの説があります。

- ①「万(よろづ)の言の葉(ことのは)」の意から、数多くの歌を集めたものとする。
- ②「万葉」を「万代(よろづよ)(万世)」の意味にとり「万世まで末長く伝えられるべき歌集」とする。

- ◎貧窮問答歌(万葉集 巻5・892・893) 作者・山上憶良(やまのうえのおくら)
貧窮の苦しさを問答の形で歌った長歌(五・七を2度以上繰り返す、五・七・七で結ぶ)と反歌1首で構成。

《風交じり 雨降る夜の 雨交じり 雪降る夜は すべもなく 寒くしあれば…》

- ◎山上憶良の有名な歌

銀(しろがね)も金(くがね)も玉も何せむに 勝れる宝子に及(し)かめやも(巻5・803)

『俳句歳時記』季語について

立春→陽暦2月4日頃 立夏→陽暦5月5日頃 立秋→陽暦8月7日頃
立冬→陽暦11月7日頃

		陽 暦	陰 暦
春	立春より立夏の前日	2月・3月・4月	1月・2月・3月
夏	立夏より立秋の前日	5月・6月・7月	4月・5月・6月
秋	立秋より立冬の前日	8月・9月・10月	7月・8月・9月
冬	立冬より立春の前日	11月・12月・1月	10月・11月・12月

陽暦(太陽暦)→地球が太陽の周囲を1公転する時間、365、2422日を1年とする。
1年は365日と定め4年ごとに閏日を置く。100年ごとに閏日を省き(平年)。
400年ごとの閏日を省くことをやめる(閏年)。 日本では陰暦・明治5年(1872)
12月3日を陽暦・明治6年(1873)1月1日として採用。

陰暦(太陰暦)→月が新月から新月に至るのに要する時間を太陰月と呼ぶ。
平均29、5305で1か月を29日あるいは30日として、1年を12か月とする。
19年に7度の閏月を設ける。